

月刊 アカサス ニュース

第15号 1997(平成9年). 7

「アカサス」とは、古代ギリシャ・ローマに由来し、金沢大学の校章にも使われている植物の名称(和名「ハアザミ」)である。

8月号は夏休みのため休刊します。

巻頭言

共同研究こもごも



共同研究センター長
安井 武司
(工学部教授)

共同研究の旗振りや笛吹きが始められてからかなりの年月が経過している。実は先行者は旗・笛なしの時代から、潜行していて、何を今更笛吹いてと心には思っているも口には出さない。しかし、晴れて白日の下で共同研究が進められる環境になったことを心から喜んでいる。

時代の要請で社会から共同研究の呼び掛けが盛んになっても、呼応するかしないかは研究(者)次第であることは古今東西変わらない。しかし、科学・技術の進展が、個人スケールの研究から組織スケールの研究の必要性を増大させる方向に進んで来たのも現実だし、何より、社会的ないしは地球規模の問題の解決に科学・技術が役立つためには社会から問題を受け入れて、個々の研究者がそれぞれに一端を担い、共同して解決案を社会に提示するシステムが最善の方法である場合も少なくない。

発端は農業革命としても、特に産業革命以来、約200年の科学・技術の進歩の副作用が様々な分野で顕在化し、その克服策が地球的規模で要請されている。その解決案を研究し、提示するのは科学・技術に携わる研究者の責任である。周知のように、共同研究は、この種の研究に極めて有効な手段として成果を挙げつつある。

また、近代日本の産業界にとっては、明治維新、第2次世界大戦の敗戦に次ぐ第3回目の産業構造の転換期である。社会は進展著しい技術や新分野に対応すべく高度な専門再教育を大学に希望すると共に、新しい時代に生き残るためのシーズを大学等に求めるだけでなく、実社会の課題を市民と共に研究する姿勢を大学に期待している。

大学と社会との接点として、開設3年目に入り、本館も完成した共同研究センターは、様々な期待を受けて、順調な滑り出しである。

今月の表紙写真

Cover Photo

次期学長候補者に

岡田 晃 現学長が再選される

(関連記事は2ページ)



第1回投票の風景
=薬学部投票所(宝町)で(7月2日撮影)



再選された岡田学長

本年度初の

「学外有識者との懇談会」を開く

(関連記事は3ページ)



“学外有識者との懇談会”で大学側の説明に耳を傾ける女性団体代表者
=金沢シティモンドホテル(金沢市橋場町)で(6月26日撮影)





学長選の結果を受け、決意を新たにする岡田学長
= 7月4日夕刻、学長室で

学長候補者選挙

岡田 現学長 2年間の続投へ

任期満了に伴う学長候補者選挙は、6月2日の公示を受け、7月2日・3日・4日の3日間にわたって行われ、現職の岡田晃学長が再選された。新しい任期は、本年 9月22日から2年間である。

6月17日に開かれた推薦委員会では、推薦委員から計15名の候補者が推薦された。これに基づき7月2日には第1回投票が、翌3日には第2回投票が行われたが、いずれにおいても過半数を超える得票者がなく、前回選挙(平成5年)と同様、同4日の第3回投票に持ち込まれた。その結果、岡田現学長が過半数を獲得し、同日夕刻に開催された評議会で、次期学長候補者として決定されたものである。

なお、投票率は下表で見るとおり徐々に高くなり、3日間平均では83.3%となった。

岡田学長の略歴

昭和4年12月22日生まれ、北海道大学医学部卒。福島県立医科大学、札幌医科大学を経て、昭和47年に金沢大学医学部教授となる。大学教育開放センター長、医学部長等を歴任した後、平成5年9月から学長を務める。専門は公衆衛生学。特技は空手(3段)。

学長選関連の写真もう1枚を
表紙にカラーで紹介

開 票 結 果

有権者総数731名
(教授:373, 助教授:265, 講師93)

(候補者はABC順に記載。敬称略)

第1回投票 (7月2日)

投票総数 595 (投票率: 81.4%)
うち有効投票数 588
各候補者の得票数

江見 準	39	宮本 憲一	16
藤田 暁男	19	大場 義樹	14
深谷 松男	109	岡田 晃	222
林 勇二郎	9	清水 立生	19
廣根 孝衛	58	田仲 一成	13
鴨野 幸雄	9	寺田喜久雄	12
金子 勲榮	16	和田敬四郎	25
小牧 純爾	8		

無効票 2
白 票 5

第2回投票 (7月3日)

投票総数 608 (投票率: 83.2%)
うち有効投票数 601
各候補者の得票数

江見 準	47
深谷 松男	183
廣根 孝衛	68
岡田 晃	268
和田敬四郎	35

無効票 2
白 票 5

第3回投票 (7月4日)

投票総数 623 (投票率: 85.1%)
うち有効投票数 606
各候補者の得票数

深谷 松男	289
岡田 晃	317

無効票 1
白 票 16





新名誉教授15名に称号を授与

6月9日、事務局大会議室において名誉教授の称号記授与式が行われた。

今回新たに名誉教授の称号を授与されたのは、平成8年度末に停年により退職された教授のうち各学部から推薦された右の15名の方方で、5月16日開催の評議会で決定されたものである。これにより、本学における名誉教授の称号記授与累計数は302となった。



岡田学長から称号記を授与される新名誉教授の方々
= 6月9日午前、事務局大会議室で

新たに名誉教授になられた15名の方々

(平成9年4月1日付け。部局順)

- 川崎 茂 氏 (文学部)
- 田中宏幸 氏 (文学部)
- 園家榮照 氏 (教育学部)
- 藤 則雄 氏 (教育学部)
- 柴田固弘 氏 (経済学部)
- 西端 敏 氏 (経済学部)
- 清水建美 氏 (理学部)
- 定塚謙二 氏 (理学部)
- 古田孝臣 氏 (理学部)
- 松岡慎一 氏 (理学部)
- 宮崎逸夫 氏 (医学部)
- 山本長三郎 氏 (医学部)
- 伊藤道也 氏 (薬学部)
- 津田喜典 氏 (薬学部)
- 高瀬信忠 氏 (工学部)

()内は最終在籍部局名

「平成9年度学外有識者との懇談会(第1回)」を開催

6月26日、金沢市内のホテルで本年度初の「学外有識者との懇談会」が開催された。

今回は「これからの大学に望むもの」をテーマとして、看護協会やJA関係など各種女性団体の代表者9名を招き、市民・女性としての立場を中心とした意見を伺った。



懇談会関連の写真もう一枚を
表紙にカラーで紹介

岡田学長(写真上)の乾杯の音頭で始まった懇親会
= 6月26日夕刻、金沢シティモンドホテル(金沢市橋場町)で



16機関を結んで 「SCS開局記念式典」を開催

6月13日、総合教育棟(角間)SCS室で、本学をはじめ全国16の国立大学、高等専門学校等を衛星通信で結んで「SCS開局記念式典」が行われた。同式典では、筑波大学の江崎玲於奈学長のあいさつに引き続き、新しく設置された16のSCS局が順次自己紹介を行い、開局を祝った。

SCSとはスペース・コラボレーション・システム(Space Collaboration System)の略で、平成7年度から整備が始まり、このたびの設置で合計48機関62局となった。今後、遠隔地間での相互授業やシンポジウム等への利用が期待される。



SCSで受信された画像及び音声を視聴する関係者
=6月13日午前、総合教育棟SCS室(D4講義室)で

「キャンパス美化週間」(6月2日~6日) 各キャンパスが除草などですっきりと

本学の各キャンパスでは、6月2日から6日までを、平成9年度前期の「キャンパス美化週間」と定めて、職員による除草やゴミ拾いを実施した。

このうち角間キャンパスでは、除草範囲がかなり広い
ため、十数台ある草刈り機をフル稼働して、除草に当たった。



角間キャンパスで除草に励む職員たち
=6月2日午前、「金沢大学中央」バス停付近で

「医学研究科学学位記授与式」を挙行 新たに74名に博士の学位を授与

6月30日、医学部記念館(宝町)において、「医学研究科学学位記授与式」が執り行われた。今回、学位記を授与されたのは、課程修了者50名及び論文審査合格者24名の計74名。同式典では、岡田晃学長から告辞が、中西功夫医学研究科長から祝辞がそれぞれ述べられた。



岡田学長から学位記を受け取る新しい博士たち
=6月30日午前、医学部記念館で

大学会館2階の食堂入口前に 「証明書自動発行機」を新設 コーナー名も「アカンサス・メイト コーナー」と改称

このほど、大学会館(角間)2階に「証明書自動発行機」が新設された。これは、学生に対するサービス向上と事務合理化を図ったもので、すべての正規学生が、在学証明書とJR学割証の即時発行を受けられるシステム。

この発行機が設置されたコーナーには、既にATM(現金自動預金支払機)等3台、公衆電話2台が置かれており、コーナー名も同時に「アカンサス・メイト コーナー」と改称された。



証明書自動発行機が新設された「アカンサス・メイト コーナー」
=6月30日午後、大学会館2階で





本学が当番校で 「医学系出身国立大学長懇談会」を東京で開く

6月16日午後、東京ガーデンパレスを会場に、27大学長及び文部省から寺脇医学教育課長ほかが出席して、平成9年度前期の「医学系出身国立大学長懇談会」が開催された。この懇談会は、毎年、春と秋の2回開催される国立大学協会総会の前日に開催されており、今回は金沢大学と島根医科大学が当番校となった。

岡田学長の司会で進められた懇談会では、寺脇課長の「医学教育をめぐる諸問題」についての説明も行われ、率直に意見交換された。



岡田学長の司会で進められた懇談会
= 6月16日午後、東京ガーデンパレス(東京都文京区)で

ペンシルバニア大学(アメリカ合衆国)の マーティン・メイヤーソン名誉学長夫妻が来学

本学の最も古い交流協定締結校(1956年1月交流締結。1997年5月成文化)であるペンシルバニア大学(本部：フィラデルフィア市)のマーティン・メイヤーソン名誉学長夫妻が、6月2日から3日間、金沢を訪れた。

同名誉学長は、ペンシルバニア大学長のほかニューヨーク州立大学バッファロー校の学長、パリにある国際大学協会(IAU)の会長などを歴任している。

6月3日には、本学の岡田学長を訪ね、今後の両大学の交流の在り方等について協議した。



マーティン・メイヤーソン夫妻と
歓談する岡田学長
= 6月3日午後、学長室で



去る5月に成文化されたペンシルバニア大学との交流協定締結書ファイル

6月の研修スナップ

平成9年度 企業視察(第1回)

期 日：6月23日
受講者：各部門で広報業務に従事している者 20名
場 所：株式会社 橋本確文堂(金沢市増泉)



コンピュータによる原稿作成を見学する受講者
= 6月23日午後、(株)橋本確文堂で

この「企業視察」は、職員に企業の先端的活動等を実感してもらい、日頃の業務に活かすことを目的とし、本学では初めて企画された。(年度内に数企業の視察を予定)

本学へのお客さま(6月)



元岐阜大学長の 館 正知 氏
= 6月11日、学長室で



懐かしい城跡，一部開放

旧・本部棟や旧・教育学部棟が姿消す・・・

旧・城内キャンパスは、その後石川県の手により城趾公園建設に向けて整備が進められ、現在、石川門から宮守坂に至るコースが散策用に開放されている。本学職員になじみの深い旧・本部棟や旧・教育学部棟は既に取り壊され、本学にとっては少し寂しい風景となっている。このたび撮影した地上・航空の写真を

旧・城内キャンパスの航空写真を裏表紙にカラーで紹介



旧・本部棟が姿を消した金沢城跡の現風景
= 6月30日午後，石川門で

ハンドボールで附属中が男女アベックV

男子は2年連続，女子は初の栄冠

6月20日から3日間金沢市内で行われた金沢市中学校夏季大会のハンドボール種目で、附属中学校が男女アベック優勝を成し遂げた。

男子は接戦をものにしたの優勝，女子は完璧に近い勝ちっぷりで、ハンドボールの顧問(園下晶久教諭)も厳しい練習に耐えた教え子たちの雄姿に目を細めていた。



女子ハンドボール部の試合風景(中央は巧みにシュートを決める済田美樹選手)



資料館コレクション (その9)

だてんし 「墮天使」

ぐんじ かずお
(郡司 和男 (1930~1978) 作)

作者の郡司和男は、昭和5(1930)年に千葉県に生まれ、東京芸術大学彫刻科を卒業時には、成績優秀として安宅賞を受賞した。その後、新制作協会の会員として活躍し、代々木公園(東京都渋谷区)の「しあわせの像」や、三越銀座店(同中央区)の「ライオン像」(共同制作)などの作品を残している。死の直前のわずか3か月間のみ本学助教授(教育学部)を務めた。

作品「墮天使」は、その肉付けに温かな人間性が感じられる反面、胸部をくま取る刻線には心の内部を示す痛々しい訴えかけが表現されており、小品ながら作者の特徴が十分に発揮された佳作(かつ遺作)である。

墮天使

制作年：昭和53(1978)年
材 料：ブロンズ

種 類：彫刻
寸 法：高さ50cm

現在、資料館展示室で展示中





「金沢大学概要」と“移転パンフ”が完成

このたび、「金沢大学概要(平成9年度)」と「金沢大学総合移転」パンフレット(改訂版)が出来上がり、学内外に配布された。

“概要”には新たに「キャンパス別職員・学生数」のグラフが盛り込まれ、“移転パンフ”には第一期計画事業に関する情報が加えられる等の改訂がなされている。またこれらには、主要キャンパスの最新の航空写真(本年5月撮影)も載せられている。



このほど完成した「金沢大学概要(平成9年度)」(写真左)と「金沢大学総合移転」パンフレット(改訂版)

金沢大学「公式ホームページ」情報

アドレスは

<http://www.kanazawa-u.ac.jp>

2月14日に公開された金沢大学「公式ホームページ」の面白い情報を紹介するコーナーです。

(「その1」は第11号に掲載した。)

その 2

実用的な情報

リンク集(附属図書館のページ)

クリック順

トップページ

附属図書館

実用的な情報
リンク集

附属図書館のホームページ内にある「リンク集」は、国立国会図書館や県・市の図書館のホームページを集めているほか、国内外の新聞やテレビなどのマスコミ関係、北陸地方の大学、石川県や金沢市などのホームページも収めている。これらは別途個別にアクセスできるが、本学ホームページから附属図書館のページを介してアプローチできる。各新聞社の“きょうのニュース”などを見ることを日課にしても面白い。



The New York Times のトップページ

訂正

第14号(1997.6)に次の誤りがありました。おわびして訂正します。

	(誤)	(正)
4ページ下段	写真説明文中 山際隆教授	山極隆教授
6ページ下段	文章 中 作品「養正」「養」	作品「養正」「養」
8ページ上段	写真説明文中 卯辰山方向を臨んで	卯辰山方向を望んで

編集後記

梅雨の合間の晴れた日には、角間の“空の青、山の緑、建物の赤”がひとときわ目に鮮やかで、強い日差しにいいよ夏本番を感じる。巷でも夏季休暇の時期に入り、本号がお手元に届く頃には既に休暇に入られている方々もいることだろう。

さて、縁あってか?今年度から本紙の編集に携わることになり、早4か月が過ぎようとしているが、その間、個人的には暖かい励ましをいただき、本当にうれしい限りである。情報収集、写真撮影、原稿作成、レイアウト、校正等と、広報の仕事には本当に数々の地道な作業が隠れており、新米には大変なことこの上ない。

だからという理由ではないが、前号に続いて今号も訂正記事を書けることになってしまい、深く反省している。

今後の信用のためにも、以前にも増して緊張感をもって取り組んでいくので、様々な情報、御指摘、アイデア等を奥付けに示したE-mailへでもお寄せいただければ幸いです。

なお、本紙「アカンサス ニュース」は次回8月号を休刊とさせていただきます。心機一転して9月に7,8月の出来事をまとめてお届けしたい。(黒田)



このページには、カラーで紹介するのにふさわしい写真を集めてあります。



空から見た我がキャンパス

その 宝町キャンパス (13.0ha)

(平成9年5月撮影)



鈴見町付近上空から看護婦宿舎を手前にして宝町キャンパスを望む
本キャンパスは、近い将来再開発される予定であり、建物も大きく様変わりする。写真左端では、いずれ鶴間キャンパスとの間に伸びる予定の県道(金沢・井波線)の工事も進んでいる。

— (付 現在の旧・城内キャンパス(金沢城跡)) —



旧・本部棟や旧・教育学部棟などが姿を消し、金沢城趾公園としての整備も遺跡発掘と併せて着々と進んでいる。(平成9年5月撮影)

(関連記事は6ページ)

— アカンス開花! —

「アカンサス」が本部棟前で花を咲かせている
本紙のタイトル名にもその名が使われている
6月30日午後 本部棟玄関前で



「データ」

アカンサス(acanthus)ハアザミとも、地中海沿岸原産、50~100cmに生育するキツネノマゴ科の宿根草。夏、白色から淡紫色の花を穂状につける、その名は、「acantha=トゲの意」から由来しており、名のとおり裂片には荒い鋸歯がある。

平成9年7月18日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-11 金沢市角間町
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019
FAX 076-234-4010

本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail)=general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。

